

# 鉄道ピクトリアル

1970年 12月号 Vol. 20 No. 12

|       |                           |   |
|-------|---------------------------|---|
| ■表紙   | 「惜別・両毛のC58」               | 岸 幸男                                      |
| ■カラー頁 | 「たなびく蒸気」(第15回鉄道写真コンクール入賞) | 釜野 陽一                                     |
| ■グラフ  |                           |   |
|       | 中村・岡多線スタート                | 日本鉄道建設公団・市川 満…11                          |
|       | 消えゆくけむり—45・10にひろう—        | 吉留正彦・窪田正実・伊藤昌慶・岸幸男・久保達彦・綿貫正二・桜井良彦…12      |
|       | 3線電化完成                    | 吉留正彦・窪田正実・角田秀紀…16                         |
|       | ローカル線の表情—宮津線—             | 吉川 晃…18                                   |
|       | 冬のおとずれ(第15回鉄道写真コンクール入選作品) | 麻生郁彦・天野洋一・福田静二・持元宏…43                     |
|       | 鉄道フォトギャラリー 消え去りし渡良瀬のけむり   | 岸 幸男…46                                   |
|       | 雪晴れの朝(2頁大・解説78頁)          | 直山 明德…50                                  |
|       | 思い出のアルバム〔7〕               | 高松吉太郎…52                                  |
|       | 東南アジア鉄道の旅〔3〕タイ国鉄          | 中川浩一・牧林功・北龍一…54                           |
|       | 東南アジア鉄道の旅〔4〕クワイ川橋りょうと泰緬線  | 中川 浩一…56                                  |
|       | ミステリー列車走る                 | 小寺康正・鈴木康夫…58                              |
|       | トピックフォト                   | (45・10の表情, 北海道・東北・関東・中部・関西・中国・九州だより) ……83 |
| ■本 文  |                           |   |
|       | 今月の話題・フレートライナ時代来る?        | 編集部…3                                     |
|       | 最近の国鉄貨物輸送について             | 天野雅一郎…4                                   |
|       | 私有貨車のはなし                  | 大友 邦彦…7                                   |
|       | 国鉄車両の今後のあり方               | 河合 明…19                                   |
|       | 鹿児島電化開業前後                 | 谷口 良忠…29                                  |
|       | 呉線電化開業前後                  | 窪田 正実…33                                  |
|       | 国鉄線の休廃止について               | 平野 享…36                                   |
|       | 私鉄高速電車発達史〔28〕             | 中川 浩一…39                                  |
|       | タイ国鉄瞥見                    | 牧林 功…59                                   |
|       | クワイ川橋りょうを見る—泰緬鉄道点描—       | 中川 浩一…62                                  |
|       | 書評⑥「世界の鉄道 1971年版」         | 和久田康雄…65                                  |
|       | 泰緬鉄道線路図の復元と通過の想い出         | 鹿野 幸彦…66                                  |
|       | ローカル線を探る〔2〕「宮津線」          | 吉川 晃…69                                   |
|       | 宮津線ノート                    | 編集部…71                                    |
|       | 昔なつかしポップの旅“ミステリー列車”       | 藤井 勉…72                                   |
|       | 失われた鉄道・軌道を訪ねて〔25〕「桑名電軌」   | 吉川 文夫…73                                  |
|       | 質問に答える                    | 76  |
|       | 鉄道の話                      | 78  |
|       | 鉄道ピクトリアル 1970年度主要総目次      | 79  |
|       | 車両の動き                     | 81  |
|       | 10月のメモ帳                   | 82  |
|       | 読者短信                      | 91  |
|       | TTKだより・後部車から              | 94  |



## フレートライナ時代来る?

物的流通革新近代化はコンテナリゼーションエージ(貨物を容器で運ぶ時代)とともに大きく前進している。海上輸送ではコンテナ船など、整備が進み、コンテナ船が行きかう。陸上輸送ではフレートライナ(Freight Liner)―貨物直行定期便がコンテナリゼーションの担い手だ。フレートライナは専用直通定期列車でターミナル間を結ぶ鉄道と、近距離輸送に優れた能力を発揮するトラックを結合したコンテナの共同一貫輸送方式である。

フレートライナは、鉄道輸送のもつ大量性・高速度・低廉性と、トラック輸送の持つ機動性を結びつけた一貫輸送方式で、700~800キロ以上の中・長距離輸送に威力を発揮する。とくに一般国鉄コンテナの利点はさらに押進められ、①定期・定時・定形的な輸送が可能②広範囲にわたる集貨・配達が可能③迅速・適確・低廉な輸送が可能となるなど、枚挙にいとまないほどである。

国鉄のフレートライナは、44年4月に東京―大阪間でスタート、同10月に東京―名古屋間、45年4月に東京―北九州間と次々にルートを開設、さらにこの10月から東京―岡山間、名古屋―北九州間、大阪―北九州間の3ルートを同時に開設し、現在6ルート22本のフレートライナを運行している。

こんごも1年間に3~4ルートずつを開設し、再建10カ年計画によれば、全国主要都市間を結ぶネットワークをはりめぐらし、47年度に70本、50年度に150本、53年度に300本のフレートライナを運行する方針である(別掲)。まさにフレートライナ花盛りの感。

### 〔表紙〕「惜別・両毛のC58」

岸 幸男  
C58の引くお別れ列車 '70.10.4  
ミノルタオートコード 絞り4 タイム 1/250  
エクタクローム

### 〔カラー頁〕「たなびく蒸気」

釜野陽一  
323列車 本郷―河内 '69.1.4  
ミノルタオートコード 絞り8 タイム 1/250  
コダカラ

TETSUDOTOSHO KANKOKAI  
New Kokusai Bldg, Marunouchi  
3-4-1, Chiyodaku, Tokyo/Japan